

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和5年度

施設名	栃木県総合運動公園（北・中央エリア）・とちぎスポーツ医科学センター
施設所管課	生活文化スポーツ部スポーツ振興課
指定管理者	代表：公益財団法人栃木県スポーツ協会（法人番号 8060005007630） 構成員：公益財団法人栃木県民公園福祉協会（法人番号 9060005007605）
指定期間	令和5（2023）年 4月 1日～令和10（2028）年 3月31日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市西川田4-1-1
施設の概要	（施設概要） ・陸上競技場（延床面積 42,168 m²）陸上競技場（雨天走路有）、サッカー場 ・多目的広場（投てき場）（敷地面積 13,292 m² 内側舗装路除） ・多目的広場（クレイ）（敷地面積 5,407 m²） ・第2陸上競技場（敷地面積 33,300 m²） 陸上競技場、芝フィールド（サッカーコート兼用）、屋内外雨天走路 ・武道館（延床面積 9,631 m²） 第一道場 柔道剣道兼用6面、第二道場 柔道剣道兼用4面、弓道場（近的・遠的） ・野球場（本球場）（延床面積 12,904 m²）ナイター照明6基 ・軟式野球場A、B（敷地面積 30,000 m²） ・軟式野球場C（敷地面積 22,500 m²） ・ウォームアップ場 ・テニスコート（敷地面積 21,000 m²）全天候型砂入り人工芝16面 ・サッカー・ラグビー場（敷地面積 66,800 m²） サッカーコート3面（内、ラグビーコート兼用1面）、ラグビーコート1面 ・相撲場（延床面積 636.33 m²） ・合宿所（延床面積 731 m²） ・とちぎスポーツ医科学センター（延床面積 613.5 m²）
業務内容	①栃木県総合運動公園北・中央エリアの施設の維持管理に関すること ②栃木県総合運動公園北・中央エリアの施設等の利用の許可に関すること ③栃木県総合運動公園北・中央エリア等の運営に関すること ④とちぎスポーツ医科学センターの運営に関すること ⑤その他付帯すること

2 収支の状況

令和5年度

（千円）

収入			支出		
指定 管理 ※2	指定管理料	743,991	指定 管理 ※2	事業費	0
	利用料金収入	62,043		管理運営費	483,847
	駐車場事業収入	79,718		人件費	273,980
	その他収入※1	8,763		その他支出※1	44,860
	合計	894,515		合計	802,687
指定管理業務収支差額①		91,828			
自主事業		0	自主事業		0
自主事業収支差額②		0			
収支差額（①＋②）		91,828			
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
エネルギー価格高騰対策支援金 6,104 千円			租税公課費 44,860 千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみに計上する。

令和4年度（前年度）

（千円）

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	841,006	指定管理※2	事業費	
	利用料金収入	0		管理運営費	774,935
	その他収入※1	473		人件費	265,396
				その他支出※1	17,577
	合計	841,479		合計	1,057,908
指定管理業務収支差額①		△216,430			
自主事業		0	自主事業		0
自主事業収支差額②		0			
収支差額（①＋②）		△216,430			
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
雑収入 473 千円			租税公課費 17,577 千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名	項目	令和4年度 （前年度）	令和5年度
園路広場	ウォーキング（サッカー場）	18,034	57,884
	給水塔下広場	1,463	1,721
	ウォーキング（第2陸上）	61,594	14,981
	中央広場	28,127	17,168
	水生植物園	13,934	12,166
	憩いの森	1,715	2,320
	スケボーエリア	247	340
	駐車場	-	-
	北エリア緑の丘	29,159	17,751
遊戯施設	とちのきファミリーランド	(1,582,194)	(1,453,188)
	（ ）延べ利用者÷5	316,438	290,639
運動施設 ※会議室含	陸上競技場	218,747	189,212
	多目的広場（投てき場）	12,379	11,300
	多目的広場（クイックラウンド）	3,595	10,490
	スポーツ医科学センター	9,801	11,724
	トレーニングルーム	1,546	3,192
	第2陸上競技場	70,333	48,134
	野球場（本球場）	64,546	78,650
	野球場（A・B・C）	25,091	37,263
	ウォームアップ場	1,750	1,094
	サッカー場	11,006	15,581
	ラグビー場	2,456	3,087
	テニスコート	37,077	48,139
	武道館	97,520	111,462
	合宿所	1,433	2,955
	相撲場	646	913
	スポーツ教室	-	-
	（うち減免）	(120,478)	(15,149)
	遠足・その他	587	373
計		1,029,224	1,007,962

4 サービス向上に向けた取組

栃木県スポーツ協会

- (1) 利用者の安全を踏まえ、点検を日常的に行うほか、毎月1回「施設等点検日」を設け、各施設担当職員が施設・設備・器具等の点検・確認を行った。(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (2) 利用者の利便性向上と利用促進を図るため、ホームページにより予約状況等を周知するとともに、「イベントニュース」を毎月発行した。イベントニュースには、QRコードを掲載し、予約状況がリアルタイムで分かるようにした。(北・中央エリア)
また、有料駐車場の利用状況についても、イベント毎に積極的にホームページにて情報提供を行った。
- (3) 利用者からの意見や苦情に対し、安全・安心を最優先に、出来るものから速やかに対応した。(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (4) 新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小して検温や消毒等の対策を講じた。(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (5) 「スポーツ医科学」と聞くと、研究や実験をする施設と思われるケースが多いため、講習会を積極的に開催し、一般県民にも足を運んでもらうことで、より身近な施設に感じてもらえるように努めた。また、参加者増を図るため、ホームページや、「SNS運用方針」をもとに、情報発信を行った。(医科学)
- (6) 合理的配慮を要する方々の利便性向上のため、宇都宮大学とのコラボにより、カンセキスタジアムとちぎの多機能トイレに鏡を設置している。また、カンセキスタジアムとちぎの2階トイレのトイレサインが見やすいと評価が高い。(北・中央エリア)
- (7) AEDについて、全ての専門員が対応出来るよう、宇都宮南消防署による研修会を開催した。(北・中央エリア)
- (8) AEDについて、全てのスタッフが対応出来るよう、日本赤十字社による赤十字救急法基礎講習を修了した。(医科学)
- (9) 適切な施設運営管理を行うため、「スポーツ施設管理士」「スポーツ施設運営士」「上級スポーツ施設管理士」の資格を取得させるなど、人材育成を行った。(北・中央エリア)
- (10) 大規模興行開催時の駐車場の出庫に係る苦情に対し、警備員を適正配置するとともに、通常業務外である駐車料金の収受にも対応するなど、早期出庫ができるよう工夫した。(北・中央エリア)
- (11) カンセキスタジアムとちぎのカラス飛来対策として、CrowLab(宇都宮大学発のベンチャー企業)に依頼し「だまくらカラス」(音声再生装置)を設置し、カラス被害が減少した。(北・中央エリア)
- (12) 野球場、テニスコートの利便性の向上、電話(口頭)でのやり取りによるミスや聞き漏らしの対策等としてweb上での予約で対応するため、予約システムを導入した。(北・中央エリア)
- (13) 総合運動公園のパンフレットを作成し、公園全体の利用促進を図った。
- (14) カンセキスタジアムとちぎメインエントランス付近にギャラリーを設置し、カンセキスタジアム完成までの工事写真や国体のトーチや写真、メダル、賞状等を展示している。
- (15) 競技特性に合わせた測定・サポートを組み合わせたパッケージを作成し、利用促進を図った。(医科学)

県民公園福祉協会

- (1) 大規模大会開催時の渋滞対策には主催者への適切な指導を行い、駐車場の専用利用を推進した。また専用以外の駐車場の出庫渋滞対策として引き続き警備員を効率的に配置したうえ、新たに「事前精算」、及び「臨時出口」対応を実施し、出庫時間の短縮に大きな効果を上げた。
- (2) R5年度から駐車場料金が利用料金制となり収入確保も重要となったが、一方で、集中利用時の混雑対策という相反する課題に対し、職員や警備員によるフレキシブルな誘導等により対応し、その両立を図った。これにより、利用料金収入は目標値を大きく超えた。(152.7%)
- (3) R5年度から追加された指定管理業務である合宿所レストランの運営について、事業者の選定及び調整を進め、10月から一般営業を開始した。さらに事業者との連携を進め、合宿所利用者への食事提供業務も開始し、合宿所としての機能を向上させた。
- (4) 自主運動事業において、栃木SCと連携したサッカー教室を計画5回のところ、17回実施した。長距離記録会は計画1回のところ2回実施した。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	
栃木県スポーツ協会 (1) 利用者意見の集約 ⇒ 利用調整会議にて、優先利用団体等にアンケート調査を実施した。(41件) (北・中央エリア、武道館) (2) 普通利用時のアンケート回収ボックス(北・中央エリア、武道館) (418件) (3) 利用者へのサポート前に十分な説明を行い、「意見書」を配布し、回収している(医科学)	
主な利用者意見(苦情・要望)	対 応
栃木県スポーツ協会 (1) アナウンス・音楽がうるさい。 (スタジアム) (2) 夜、自転車がジョギングコースを疾走している。 (スタジアム) (3) スタジアムの普通利用において、ナイター利用料を安くできないか。 (スタジアム) (4) サッカー場の年間利用可能日数を、現行の35日から拡大して欲しい。 (中央エリア) (5) 駐車場の慢性渋滞対策についての要望が多く寄せられた。	栃木県スポーツ協会 (1) 主催者に指示し、音量を下げる。 (スタジアム) (2) 声かけ、注意喚起の看板設置。 (スタジアム) (3) 普通利用に限り利用料が発生しない 1/10 灯を設け、利用料のみで夜間利用可とする。 (スタジアム) (4) 令和6年度から試行として40日に拡大。 (中央エリア) (5) 主催者と情報共有し、より良い対応策を検討していく。
県民公園福祉協会 (1) スケートボード利用者への苦情	県民公園福祉協会 (1) スケートボードエリアのルールの明確化を実施した。またエリア利用者やエリア外滑走者へ徹底した注意指導を実施し、適正利用を図った。
主な利用者意見(積極的評価)	
栃木県スポーツ協会 (1) カンセキスタジアム観客アンケート調査結果(5/21、38件中) 施設について 満足・やや満足 ⇒ 100% 看板等のわかりやすさ とてもわかりやすい・わかりやすい ⇒ 84.2% 施設の清潔さ とてもきれい・きれい ⇒ 100%	
県民公園福祉協会 (1) スタッフの対応がとても良かった。 (2) 芝生、樹木などがとてもよく管理されている。	

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
栃木県スポーツ協会 (1) 施設設備等の補修 ・利用者の安全・安心を最優先に考え、施設・設備等の不具合に対し、速やかに修繕を実施した。 <スタジアム> レストハウスのガラス交換 高圧洗浄機修繕 投てき用囲い SUS 支柱修理 間口角コンクリート破損修繕 コーナーガード修理 自転車スタンド修理 監視カメラモニター交換 カンセキスタジアム散水栓修理 消火器塩ビステッカー交換 膜屋根ピンホール修理 SHOP3 床剥がれ

修理 配線カバー穴開け修理 ガラス交換 監視カメラ UPS バッテリー交換 大型映像不具合修繕 中央監視装置 UPS バッテリー交換 電子機器保守点検後修理 フィールド破損箇所修繕 ハードル修理 ひかり電話ネットワーク修理 <武道館> 第二道場窓枠改修、自動制御機器部品交換作業、第一道場壁羽目板及びコンクリート修繕、弓道場壁・床修繕、太陽光発電設備表示用 UPS バッテリー交換、地中熱温度センサー修理、柔道タイマーブザー交換、防火扉バッテリー交換、弓道場防矢ネット修繕 <その他> 第2陸上競技場ガラス破損交換 ・スタジアム観客席が風雨による汚れ等が著しいため、清掃を1回実施した。また、2階内部コンコースが利用者の飲み物等による汚れが著しいため、コンコースの清掃を実施した。 - 併せて、2階コンコース上部・3階・4階のガラスの清掃も実施した。
(2) 施設設備等の定期的な点検 <u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u> ・定期的に「日常点検」を実施し、施設設備や競技用具のチェックを行っている。 ・「大会終了後点検」や「月次点検」も併せて実施し、複数人による施設・設備・用具のチェックを実施、利用者の安全・安心と利便性の向上を図る。
(3) 利用者からの意見 <u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u> ・利用者からの意見については、北・中央エリア内や栃木県スポーツ協会事務局、県生活文化スポーツ部スポーツ振興課とも協議しながら、利用者の安全を第一に考慮し、速やかに対応した。
(4) 危機管理体制の維持 <u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u> ・火災等の緊急時に備え、利用者の安全確保を目的に防災避難訓練（カンセキスタジアム1回、合宿所1回）を実施した。
(5) 高齢者及び障害者等への配慮 <u>(スタジアム、武道館、医科学、合宿所)</u> ・各施設に車椅子を配置し、必要により柔軟に対応した。 ・宇都宮大学とのコラボにより、カンセキスタジアムとちぎの多機能トイレに鏡を設置した。また、カンセキスタジアムとちぎの2階トイレにトイレサインの塗装を行った。
(6) 来館者が多い大会等の駐車場対策 <u>(北・中央エリア)</u> ・主催者と事前に十分な打合せを行い、主催者による近隣商業施設への迷惑駐車への対応や、駐車場利用混雑回避のため、交通機関等の活用及びシャトルバスの運用等について、協力をお願いした。 ・円滑な出庫ができるよう警備員の配置を当初計画より増員して対応した。
(7) 新型コロナウイルス感染防止対策 <u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u> ・啓発物の作成と掲示 ・専用利用時の人数制限と換気の徹底 ・入館時の検温と手指消毒の徹底 ・エアバスターの設置
(8) 見学・視察等の実施 <u>(スタジアム、武道館)</u> ・スタジアム及び武道館の見学等の希望が多数あり、適宜対応した。 (スタジアム48件、783人)
(9) スポーツ教室の開催 <u>(医科学)</u> ・利用者のニーズに応え、トレーニング指導講習会を対面講習会として開催した。(参加者延べ133名) ・1つの競技に特化して他分野の視点からスポーツ医科学を用いた競技力向上のヒントを発信するための競技別セミナー(バスケットボール)講習会を開催した。(申込者数141名)。
(10) 利用者のごみの持ち帰りへの取組 <u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u> ・利用者に対し、「ごみの持ち帰りの徹底について」打合せ等の際に確認するなど、ごみ削減の対策に取り組んだ。
(11) 効率的な運営 <u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u> ・職員が常にコスト意識を持ち、効率的な運営を心掛け、経費削減に努めた。
(12) 器具庫内の湿気対策 <u>(北・中央エリア)</u> ・器具庫内が異常に多湿であり、器具・備品・精密機器の品質劣化や故障等を招く恐れがあると

の指摘を受け、多湿状況を見ながら設置した大型扇風機を回す等湿気対策・管理に努めた。

県民公園福祉協会

- (1) GSZ 整備では改修されず継続使用となった旧施設の改修に積極的に取り組んだ。さらに改修された箇所でも危険の内在を事前に発見し、自主的な回収に努め、事故を未然に防止した。
- (2) 古木の剪定や樹形維持など適切な維持管理に取り組んだ。また枝枯れに対しては、巡視の強化により早期の発見と除去に取り組み落枝事故を防止した。
- (3) 桜の衰退度調査について、これまで積み上げた樹木医の専門的診断データを活用し、危険性の有無を判断したうえで公園事務所と連携し、利用者の理解を得られるよう適切な管理計画につなげた。
- (4) 苦情の多いスケートボードへの対策として、仮設エリアの活用、エリア利用者やエリア外滑走者へ徹底した注意指導を実施し、適正利用を図った。これにより、スケートボードの不法利用と苦情を減らすことができた。
- (5) 国体後の運動施設の利用増加に伴い、競技用芝生への負荷が増したため、刈込回数や施肥回数を計画より増やし、良好なコンディションの維持を実現した。
- (6) 公園近隣住民に配慮し日照障害になっている樹木の枝おろしをおこない。また落ち葉の回収頻度を高め公園外への飛散防止に努めた。

利用者サービス向上を図るための取組

栃木県スポーツ協会

一年間を振り返ってみた職員による自己評価

- (1) 個人情報の保護、守秘義務への対応については、各自が常に意識して業務にあたっている。
(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (2) 防火管理や防火訓練における対応は、各自が真剣に取り組む評価が高い。
(北・中央エリア、武道館)
AEDの取扱い研修への対応も評価が高い。(医科学)
- (3) 受付や窓口業務での対応は、明るく適切に利用者への公平・公正にも配慮し、評価が高い。
(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (4) 県生活文化スポーツ部スポーツ振興課と連絡調整や県市との連絡調整と連携については、スムーズに行われており評価が高い。利用調整会議も適切に運営し、利用団体等の評価が高い。
(北・中央エリア、武道館)
- (5) 講習会などの自主事業については、職員間の協調体制など評価が高い。
(医科学)
- (6) 大会等のスムーズな運営のため、利用打ち合わせを適切に行っている。また、その経験値を踏まえ、次の大会等へ反映させるなど、専門員の経験値もアップしており、評価が高い。(北・中央エリア)
- (7) ホームページの活用については、専用利用状況等を掲載し、利用者の利便性が図れていることから評価が高い。また、臨時休館等のお知らせを掲載し利用者への周知に努めたほか、駐車場の状況についても積極的に掲載した。
(北・中央エリア、武道館、医科学)
- (8) 令和5年4月からテニスコート(11～16面)について、夜間利用をスタートし、令和5年度のテニスコート(個人利用)は約1.5倍に増加した。(12,821人→18,415人) (北・中央エリア)
- (9) 令和5年8月からカンスタ個人夜間照明無料(1/10灯の導入)化により、令和5年度のカンスタ(個人利用)は、約2.5倍と増加した。(3,835人→9,686人) (北・中央エリア)
- (10) 令和5年6月15日県民の日「栃木県誕生150年記念事業」として施設の無料開放を行い、北・中央、武道館、医科学で138人の利用があった。(北・中央エリア)
- (11) カンスタの特長である「内水濠」をPRするため、「2023カンスタSTEEPLE CHASE チャレンジ記録会兼小学生1000メートルチャレンジ記録会」を開催し、66人エントリーがあり、高校女子県内新記録が生まれた。(北・中央エリア)
- (12) 毎週木曜日(14時～)「カンスタ見学ツアー」を開催し、26人の参加があった。(北・中央エリア)
- (13) 令和6年度からの回数券の導入に向けて県と調整を図った。(北・中央エリア、武道館、医科学)

県民公園福祉協会 (1) 年間を通じて管理事務所を開所している。 (2) 大会利用時には、利用者の希望に合わせて、利用時間前の利用等で利便性を図った。
今後改善・工夫したい事項
栃木県スポーツ協会 (1) ホームページを活用した広報活動や利用者への情報提供をさらに積極的に取り組み、利用者の増加と利便性の向上を図る。<u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u> (2) 利用調整打ち合わせを適切に行い、利用者の安全・安心と利便性の向上に努めるとともに、職員のノウハウの習得と経験値の向上を図り、利用者へ還元につなげていく。<u>(北・中央エリア)</u> (3) 利用者の安全・安心を確保するため、引き続き以下の事項を行う。 <u>(スタジアム、武道館、医科学)</u> ① スタッフが災害時（火災・地震等）に即時対応できるように、避難や誘導方法を把握し、訓練を行うなど、利用者の安全を確保する。 ② 施設内の犯罪予防と良好な環境を保全するため、挙動不審者の把握・風紀秩序の保持に努める。 (4) 事故等を未然に防止するため、職員が表示板や張り紙などを作成し、施設内での注意喚起や適切な誘導に努める。また、利用者が見やすいように工夫する。<u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u> (5) 新型コロナウイルス感染防止対策等に的確に対応できるよう職員の資質の向上を図る。 <u>(北・中央エリア、武道館、医科学)</u> (6) 予約システム（野球場、テニスコート）を令和5年8月から本格稼働させ利用者の利便向上等を図るとともに、今後さらなるブラッシュアップに努め、サービス向上を図る。 (7) 利用者の利便向上等を図るため、電子申請システムの開発に着手し、令和6年度から電子申請を稼働させる。
県民公園福祉協会 (1) 恒常化している駐車場不足、出庫渋滞問題への対応。 (2) 日環アリーナも含んだ、総合運動公園全体としての連携、調整および情報共有

7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	利用調整会議等により、確保されていた。	B
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	適正に管理されている。	B
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。	誘導案内板やトイレサイン等により、適正に配慮した。	A
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	県内スポーツ競技の振興や競技力の向上という設置目的に沿った業務が適正に実施された。	B
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	H P や S N S 等を活用した情報発信を実施し、利用促進を図った。	B

	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	アンケートを実施し、必要に応じて改善を実施し、満足度の向上を図った。	B
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	意見箱を設置し、苦情・要望に対して適切に対応した。	B
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	日常的な点検のほか、月1回「施設等点検日」を設け、適切に維持管理・安全管理を実施した。	B
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	自主事業を積極的に実施し、県民サービス向上も図った。また、駐車場利用について、効率的な運用を行った。	A
3. 管理を安定的に行う物的・人的基礎	①組織体制は適正か	職員をバランス良く配置し、適正な管理運営を行っている。	B
	②収支は適正でバランスがとれたものか	適正な予算配分で執行し、概ね適正である。	B
	③経費の縮減に取り組んできているか	コスト意識を持ち、効率的な運営を心がけるよう取り組んだ。	B
	④人材育成は適切に実施されているか	スポーツ施設管理士の資格取得や AED の利用に関する研修実施などの人材育成に取り組んだ。	B
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	適切に実施されており、県への報告も速やかに実施している。	B
	⑥県や関係機関との連携ができていますか	随時情報共有を行い、連携している。	B
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報取扱特記事項を遵守し、適切に実施されている。	B
	②情報公開は適切になされているか	文書等の開示に関する規定を策定し、適切に対応している。	B
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	スポーツ施設及び都市公園としての特性にあった評価を実施している。	B
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	栃木 SC とのサッカー教室や長距離記録会を実施し、新たに記録会等の自主事業も実施した。	A
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	H P や S N S 等を活用した情報発信を実施しており、地域のスポーツ団体と連携したイベントを実施している。	A
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	ゴミ等の持ち帰りを徹底するとともに、適切に樹木を管理し、落ち葉の回収を実施した。	B
	⑤その他管理運営上の特記事項（コロナ対策がなされているか等）	新型コロナ対策として、啓発ポスター等の掲示、検温や消毒等の対策を講じた。	B

総合的な評価
・施設の効果的な運営、施設の維持管理・安全管理、利用者への接遇、災害時の対策など、指定管理者として要求される水準の取り組みが行われている。 ・プロスポーツの興行など、大規模なイベントが実施されるが、イベント主催者との連携・公園内他施設の管理者と連携し、対応している。また、駐車場の効率的利用に向けた取り組みも実施している。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、入館時の検温、施設利用時の人数制限、換気の徹底など、利用者が安全安心に利用できるよう、適切に運営を行っている。

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。